

平成29年度

事業レポート

片瀬地区社会福祉協議会

目 次

片瀬のあゆみ	1
片瀬地区の概要	2
事業計画	3～4
活動報告	5～36
【高齢者福祉部会】	5～6
1. 散策事業 柿狩り&散策ツアー	5
2. 介護予防講習会（めざせ！元気シニア）	6
【障がい福祉部会】	7～12
1. 障がい者福祉講演会	7
2. 視察研修会の実施	8
3. 部会研修会	9
4. 藤沢市施策の傍聴	10
5. 福祉に関する講演会へ参加	11
6. 部会開催	12
【青少年・子育て福祉部会】	13～18
1. 児童交流会かたせ	13
2. 小学校1年生にお祝い	14
3. にこにこ広場に協力. 児童交流会	15
4. 出張かたせにこにこ広場 (まちづくり協議会ボラセンター運営委員会部会) 事業に協力	16
5. 研修（民生委員との合同）に参加	17
6. 青少協視察研修に参加	18
【生活支援部会】	19～22
1. 部会開催	19
2. 地区福祉団体との意見交換会	20
3. 湘南大庭地区「ジョア」へ視察研修	21
4. 部会開催	22
【広報部会】	23～25
1. 広報紙 社協だより「しあわせ」発行	23
2. 「社協ニュース」発行	24
3. 片瀬地区ポータルサイトでの情報発信	25

【その他の事業】

26～36

1. 片瀬地区敬老会	26
2. 敬老事業	27
3. 片瀬地区新年賀詞交歓会	28
4. ねたきり高齢者への見舞い品贈呈	29
5. 家族を介護している人のつどい	30
6. 片瀬地区ふれあいまつりへの協力 ～福祉バザー・掘り出し市～	31
7. 片瀬地区ふれあいまつりへの協力～藤沢炒麺～	32
8. 日赤社資増強運動	33
9. 赤い羽根共同募金の推進	34
10. 年末助け合い募金運動の推進	35
11. 車椅子の貸し出し	36

片瀬のあゆみ

片瀬は、片瀬丘陵を背にし、西南面を境川をもって鶴沼と分かれ、丘陵の北端から前面に沿ってその南端までの間を細長く伸びた地形である。片瀬丘陵部を除いた全地域が砂質土の低平地である。

片瀬は、「固瀬」または、「潟瀬」とも書く。片瀬川は境川の片瀬地区を貫流する部分に名付けられたものである。

東西1.42km、南北4.29km、面積は3.02km²であり、昭和22年(1947年)4月1日藤沢市に合併した。当時、田畑は北部に多く、宅地は南部の腰越寄りに集中していた。

江の島は、片瀬の南海上に位置し、東は遠く三浦半島を望み、西ははるかに伊豆半島を眺めることができる、海拔60.4m、周囲約2,500m、面積約0.18km²の直角三角形に近い陸繁島である。

大正12年の関東大震災の際には、約1mも隆起したため、海中にあった蛸房が露出し、その殻が白く岩石面に付着している。

鎌倉時代には、固瀬駅が置かれた。鎌倉幕府が滅んだ後は、北条時代となり玉縄城の管轄におかれた。北条氏が滅んだ後は、天正18年(1590年)徳川家康の御料地となった。その後、成瀬、大久保、松平、井伊、細川氏と所轄を変え、最後は堀田鴻之丞が知行した。

江戸時代末期には、民戸は165あって、その多くは農業の間に漁釣を行い、それを藤沢宿にひさいで生活に資した。

片瀬と江の島とは、古くからいつも関係を共にしている。それは、地理的な理由と経済的な面からきている。ことに近世にいたり、江の島が景勝の地として知られ、江の島弁財天の信仰が高まって、参詣・遊覧者が多くなつてのちは、片瀬村民の生活の大部分は、そうした人たちを相手にした収入によって支えられていたと言っても過言ではない。

その故をもつてか、明治維新から昭和22年(1947年)藤沢市に合併するまで数度行政上の変化を辿ったが、常にその所轄・所属を共にした。

明治元年(1868年)11月まで莚山県に属し、同年12月神奈川県所轄、明治4年(1871年)11月区制実施により第16大区第5小区に入り、片瀬江の島、手広、川名、腰越、津村などの旧津村郷が同小区に属した。

その後、区制の廃止(明治11年)、組合役場制などの行政措置を経て、明治21年(1888年)4月、町村制の実施に伴い、翌年4月30日に片瀬、江の島両村は合併して川口村となった。次いで昭和8年(1933年)4月1日、町制をしいて片瀬町と改め、日華事変、太平洋戦争を経て、昭和22年4月1日に藤沢市に合併した。当時(2月1日現在)の人口10,555人、戸数2,315戸であった。

片瀬地区の概要

区 分	市 全 体	片 瀬 地 区
面 積 ①	69.57km ²	3.02km ²
人 口 ①	430,662人	20,618人
高 齢 者 数①	104,095人	5,769人
高 齢 化 率①	24.17 %	27.98 %
在宅ねたきり高齢者②	139人	11人
ひとり暮らし高齢者③	14,129人	461人

2018年4月1日現在

注

- ① 住民基本台帳による。
- ② 「藤沢市ねたきり高齢者台帳」による。
- ③ 「藤沢市ひとり暮らし高齢者台帳」による。

【事業方針】

少子高齢、核家族が進む地域社会の中で、高齢・障がい等により生活しづらい状況を抱えている方々、子育てに不安を感じられている方々などが安心して生活できるよう、身近な地域でふれあい、支えあう環境づくりに取り組み、温かみのある地域をめざします。

1. 高齢者のふれあい、ネットワークづくりの推進

高齢者が自分らしく元気に生活できるよう、社会的なつながりを増やし、地域の人々とふれあう機会の創出に取り組みます。

- 地区敬老会等の開催
- 散策事業等の実施
- 介護予防講習会等の実施

2. 高齢社会においても安心して暮らせる地域づくりの検討

日常生活の不便を地域でどのように支えあうのか、片瀬地区での生活支援の現状を踏まえ、他地区の社協の取り組みを学び、今後のあり方の検討を進めます。

- 身近な生活支援活動に関わる課題の情報共有・検討

3. 次世代を担う子ども達とのつながり

片瀬小学校との連携や、ボランティアセンターを拠点とした行事の実施を通じて、次世代を担う子ども達とのつながりを深める取り組みを進めます。

また、貧困、虐待など、社会的擁護の必要となる子ども達への理解を深める取り組みを検討します。

- 児童との交流会の実施
- ボランティアセンター「かたせ・にこにこ広場」への支援
- 社会的擁護の必要な子ども達への理解を深める研修会、視察会の開催等

4. 障がい者福祉の推進

身体、知的、精神、発達等の障がいがある人も、地域の中で生き生きと暮らせるよう、障がいに対しての理解を深める取り組みを進めます。

- 障がいに対する理解を深める研修会(講座)、視察会の開催

5. 地域福祉に関する普及啓発

片瀬地区社協の活動や地域福祉に関する情報について、広報紙やホームページを利用し、地域住民等に向けて広く発信していきます。

- 広報紙「しあわせ」の発行
- ポータルサイトへの情報発信
- 各福祉委員の出身母体への活動報告作成

【事業内容】

高齢者福祉部会・・・主に高齢者福祉に関する課題の把握・検討、事業の企画・実行		
	年3～5回	めざせ元気シニア(介護予防講習会)
	年1回	散策事業
	通年	居場所ひだまりの支援
障がい福祉部会・・・障がい福祉に関する課題の把握・検討、事業の企画・実行		
	年2回	障がい福祉ミニ講座
	年1回	施設見学
	年1回	部会研修
青少年・子育て福祉部会・・・青少年・子育て福祉に関する課題の把握・検討、事業の企画・実行		
	年1回	片瀬小学校児童交流会
	通年	にこにこ広場活動への支援
	年1回	地域交流会
	年2回	部会研修
	年1回	新入学児童へのお祝い
生活支援部会・・・身近な生活支援活動に関わる課題の情報共有・検討、事業の企画		
	7月頃まで	自治町内会ブロック別意見交換会の意見分析
	7月以降	他団体から情報収集
	7月以降	他団体との交流・研修
広報部会・・・情報の収集・発信・啓発		
	年2回	「しあわせ」の発行
	随時	社協ニュースの発行
	随時	インターネットを使った社協の情報発信
	年1回	学習会
社協全体で取り組むもの		
	通年	ボランティアセンター事業への協力
	年3～5回	介護者のつどい
	1月	地区新年賀詞交歓会
	年1回	日赤社資増強運動
	8月頃	ねたきり高齢者への見舞品贈呈
	年1回	赤い羽根共同募金
	年1回	年末助け合い運動
	年1回	災害への支援
	9月	敬老会
	10月	ふれあいまつりへの参加(福祉バザー・掘り出し市)
	10月	ふれあいまつりへの参加(炒麺販売)

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (高齢者福祉部会)～1～

- 1.事業名称 散策事業 柿狩り&散策ツアー
- 2.事業目的・内容 高齢者の触れ合いの場の提供
～関根果樹園にて柿狩り、わいわい市場での買い物、昼食会、
日本大学博物館見学～
大型バス利用 参加費1,500円

- 3.事業実績・成果 平成29年11月8日(水) 8:30～16:00

70歳以上の参加人数32名 従事者11名

- ・参加者相互の触れ合いができた。
- ・仲間づくりのきっかけの場となった。
- ・普段家にいることが多い方へ外出の機会を提供できた。

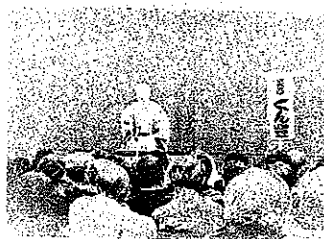
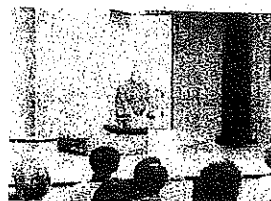


日大藤沢博物館前で集合写真

- 4.今後の取り組み
- ・毎年好評の事業であり、高齢者の触れ合いの場の提供として
必要性はあると考えるが、内容について検討する。
 - ・来年度も実施予定(日程未定)

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (高齢者福祉部会)～2～

- 1.事業名称 介護予防講習会(めざせ元気シニア)
- 2.事業目的・内容 高齢者の触れ合いの場の提供、並びに自分らしく元気に生活が保てるように、笑いと体操を通じて健康維持にむけての実践と啓発。
- 3.事業実績・成果
- (1)11月28日(木) 第1回 めざせ！元気シニア 開催
参加人数44名 従事者11名
マジック、落語、体操、終了後体操の先生を交え軽食を食べながら懇親会をひらいた。
 - (2) 1月24日(水) 第2回 めざせ！元気シニア 開催
参加人数33名 従事者8名
落語、ピンピンコロリ体操、終了後体操の先生の体操のできた経緯などを聞きながら懇親会を開催した。
 - (3) 2月26日(月) 第3回 めざせ！元気シニア 開催
参加者人数28名 従事者11名
講談、コムニサイズ(認知症予防)体操を実施。



- 4.今後の取り組み
- ・高齢者の触れ合いの場の提供として、またいつまでも元気に生活が保てることを目的として来年度も引き続き、めざせ元気シニアを継続する
 - ・内容については検討
 - ・市民センター以外で開催する「出張めざせ元気シニア」を実施予定

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（障がい福祉部会）～1～

1.事業名称

講演会 スペシャルオリンピックスを知っていますか

2.事業目的・内容

障がいに対する理解を深める目的で片瀬地区社協障がい福祉部会主催による講演会を開催。

知的障がいの人達の社会参加を、スポーツを通じて応援する「スペシャルオリンピックス」について多くの方々に知ってもらう。

平成30年2月10日（土） 10:00～12:00

片瀬市民センターホール

講師：認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・神奈川

理事 杉下由輝 氏

スペシャルオリンピックス日本・神奈川（SON神奈川）は1995年4月藤沢市に設立され、2003年10月20日NPO法人となりました。事務局は横浜YMCA903にあります。現在では、スポーツプログラム13競技とリズムダンスを神奈川県下の36会場で実施しています。

「スポーツプログラムin藤沢」では、ボーリング：江の島ボーリングセンター、水泳：藤沢YMCA、卓球：湘南台文化センター、バスケットボール：太陽の家、リズムダンス：湘南台文化センターで実施しています。

3.事業実績・成果

オリンピック、パラリンピック（身体）、デフリンピック（聴覚）、スペシャルオリンピックス（知的）の違いが理解できた。

障がいに対してまず、知ることから始めようということ、細く長く支援していくことが大切だと感じ、今後の活動の指針としたい。

4.今後の取り組み

来年度も障がいに対する理解を深めるための講演会または映画を実施する予定。



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（障がい福祉部会）～2～

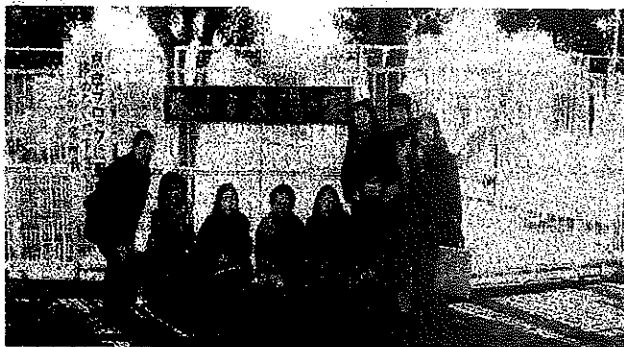
1.事業名称 視察研修会 藤沢市太陽の家藤の実学園

2.事業目的・内容 目的:市内の障がい福祉施設を知る。
平成30年1月16日(火) 10:00～11:30
藤沢市太陽の家藤の実学園 (鵜沼海岸6-6-12)

太陽の家・藤の実学園では主に知的障がいのある方々が日々通所し、地域社会の中でより豊かな生活を送るための支援をおこなっています。楽しく体を動かす心身のリフレッシュや生活リズムをつくる作業、創作活動、季節感が体感できる行事などを行っています。

3.事業実績・成果 1月16日(火)障がい福祉部会施設見学で鵜沼海岸にある、藤沢市太陽の家藤の実学園を見学に行きました。藤の実学園には、19歳から63歳までの計63名の知的障がいの方が、海や公園など、恵まれた自然環境に囲まれた学園で活動されています。学園では陶芸や機織りのプロの講師が指導にあたり、学園のイベントや六会のわいわい市場などでも利用者の方が創った作品を購入する事が出来、活動の励みとなっているとのことです。良いお天気で、有意義な部会活動を行うことができました。障がいのある方も充実した生活を当たり前のこととして送ることの大切さを学びました。またボランティアの支えも大切であることを知りました。

4.今後の取り組み 来年度も市内の福祉施設を知るために視察研修会を、実施予定。(内容未定)



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（障がい福祉部会）～3～

1.事業名称

部会研修会
片瀬中学校特別支援学級見学

2.事業目的・内容

目的:特別支援学級を知る
平成29年12月20日(水) 13:00～14:00
片瀬中学校 (片瀬山4-1-1)

特別支援学級のクリスマス会を訪問し見学させて頂きました。
生徒は9名、午前は調理室でクリスマスケーキ作り、午後からは自分たちで考えたプログラムで歌やゲーム、クイズなどを司会も交代で担当して発表しました。
皆、仲良く恥ずかしがる子を手伝って歌に誘ったり、二組に分かれて先生も交えた団体戦ゲームで盛り上がり、見学に来ていた保護者や私達も応援に力が入りました。生徒たちは、先生方に加えて支援員やボランティアなど、地域の方々にも見守られていると感じました。

3.事業実績・成果

公立中学校の中に特別支援学級があることを初めて知った部会員もいました。生徒一人ひとり障がいの特徴が異なり、先生方が個々の指導をしていることも理解できました。

地域での障がい福祉についての取り組みでは、小・中学校の支援学級のことを常に考えていく必要があると思いました。

4.今後の取り組み

来年度も部会研修実施予定です。(内容は未定)

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（障がい福祉部会）～4～

- 1.事業名称 藤沢市の福祉施策・障がい者計画・障がい福祉計画検討委員会の傍聴
- 2.事業目的・内容 目的:ふじさわ障がい者プラン2020「きらりふじさわ」に関する意見交換、中間見直し、計画の策定等を傍聴し、市の取り組みや進捗状況を知る。
- 3.事業実績・成果 平成29年10月10日(火) 13:30～15:30 於:保健所
平成29年12月 5日(火) 13:30～15:30 於:保健所
資料などに目を通し、多方面から選出された委員さんからの意見、行政側の説明を聞き、市の施策を理解することが出来ました。今後の活動にいかしていきたい。
- 4.今後の取り組み 来年度も継続して傍聴する予定。

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（障がい福祉部会）～5～

- 1.事業名称 福祉に関する講演会へ参加
- 2.事業目的・内容 市または他地区主催の講演会に参加し、「障がい」について理解を深める。
- 3.事業実績・成果
平成29年10月14日(土) 10:00～12:30 湘南NDビル6F
映画「逃げ遅れる人々～東日本大震災と障がい者」

平成29年10月18日(水) 19:00～21:00 市民会館大ホール
映画「ケアニン」 ケアニンとはケアする人の意味
藤沢市にある介護施設「おたがいさん」がモデルとなった映画

平成29年12月 9日(土) 13:30～ 市民会館小ホール
第32回藤沢市人権啓発講演会
「いま人権から……ひとりひとりが主役」の社会を
講師： 落合恵子氏

平成30年 1月27日(土) 14:00～16:00 市役所5F 5-1会議室
藤沢市心のバリアフリー講演会（光友会に委託）
「障がいのある子ってどんな気持ち？」～見て、聞いて、体験して
知ろう！～
講師： 座間キャラバン隊

様々な講演会を聴き、障がいについて多方面から理解することができた。今後の活動に生かしていきたい。
- 4.今後の取り組み 来年度も随時参加する

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (障がい福祉部会) ～6～

- 1.事業名称 部会定例会開催
- 2.事業目的・内容 事業の実施に向け、日程や内容について検討した。
- 3.事業実績・成果 平成29年 5月12日(金) 16:45～ 市民センター第3談話室
平成29年 7月 6日(木) 13:00～ 市民センター第2談話室
平成29年11月10日(金) 10:00～ 片瀬ボランティアセンター
平成30年 3月 6日(火) 10:00～ 片瀬ボランティアセンター

部会での打ち合わせ、話し合いにより各事業を滞りなく実施することができた。
- 4.今後の取り組み 随時実施する。

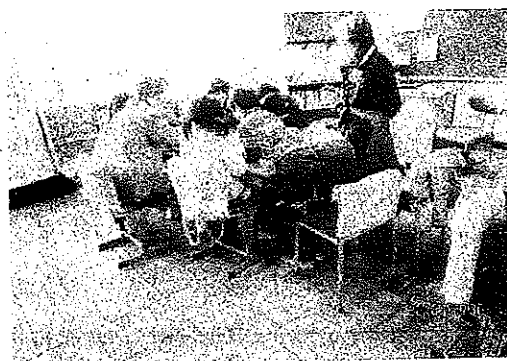
片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（青少年子育て福祉部会）～1～

1.事業名称 片瀬小学校児童交流会

2.事業目的・内容 平成30年 1月30日(火) 10時15分～12時30分
片瀬小学校 教室及び体育館等

3年生の社会科の時間に昔の生活と言う単元があります。
昔の片瀬・江の島地域の様子や勉強や遊び方などの話を通して、古くから片瀬にお住まいの高齢の方が、片瀬で育っていく地元の小学生に語り継ぎ、片瀬・江の島への郷土愛が深まることや住民参加による地域社会づくりを目的としています。

1時間目は1クラスが4グループに分かれて、そこに先輩の先生が入り、お話をしてくださいました。生徒たちは身を乗り出して、昔のお話を聞いていました。活発に質問もあり、あっという間に1時間目が終わり、2時間目は体育館に集合して、竹馬、竹ぼっくり、コマ回し、メンコ、割りばし鉄砲、紙飛行機、紙鉄砲、ゴム飛び、羽根つき、お手玉、だるまおとし等昔の遊びに夢中になっていました。



3.事業実績・成果

昔の生活や遊びを、体験した方々から実際にお話をしていただき、子どもたちは最高の学習だったと思います。

4.今後の取り組み

毎年、続ける事が出来れば良いと思います。

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（青少年子育て福祉部会）～2～

1.事業名称

小学校1年生にお祝い

2.事業目的・内容

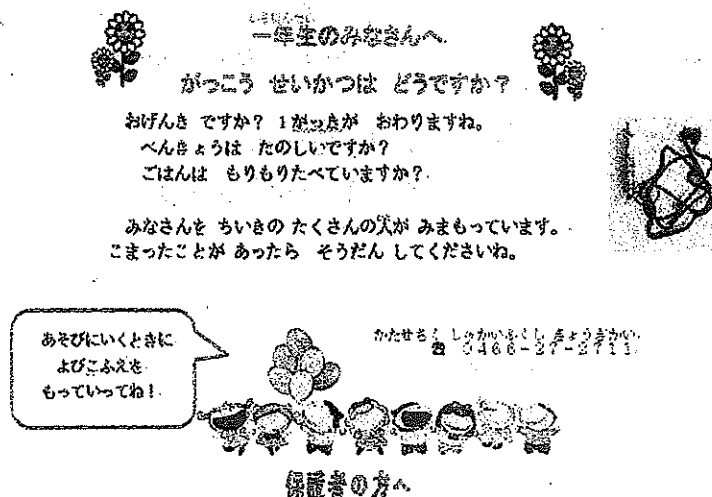
地域の子どもたちの健やかな成長を願い、片瀬小学校および地区内在住の新林小学校、私立小学校の新一年生にささやかなお祝いを贈りました。

小学生になって1人で遊びに行くことも多くなります。

夏休みを前に、遊びに出かける時に持って行けるように、呼子笛を差し上げました。

児童向けの手紙と、保護者の方には何か困ったことがあったら片瀬地区社会福祉協議会にご相談くださいという手紙をつけました。

3.事業実績・成果



保護者の方へ

呼子笛をプレゼントします！

こんにちは。私たちは片瀬地区社会福祉協議会 青少年・子育て福祉部会です。

桜の咲く頃、色々な思いを感じながら校門をくぐり、本日一学期が終業しました。

お子様は学校生活にも慣れ、勉強に遊びにと、行動範囲も広がってきていると思います。

私たちは子ども達の健やかな成長を願い、入学のお祝いに呼子笛をプレゼントいたします。

毎日の生活の中で安全に暮らせるよう、お子様と話し合っ使用していただけたらと思います。

私たちも「地域で子育てを」と思い、保護者の皆様と共に歩んでいけたらと思っています。

何かありましたら、気兼ねなく、ご相談下さい。

2017年（平成29年）7月

子ども達が元気に楽しく、生活することが出来るよう片瀬地区社協としても見守っていることを保護者へ周知することができた。

4.今後の取り組み

来年度以降も継続して実施する予定。

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（青少年子育て福祉部会）～3～

1.事業名称

かたせ・にこにこ広場に協力

2.事業目的・内容

子育て中の親子を地域で見守り、親同士の情報交換の場を提供しています。

朝、10時になると、ボランティアセンターには乳幼児を連れのお母さん達が集まって来ます。お母さん達は子ども達を遊ばせながら、おしゃべりに花を咲かせています。

お昼になるとおもちゃを片付けて、机と椅子を出し、手洗いもちょうと出来、皆で”いただきます”で楽しいランチタイムです。

臨床心理士の原さんは、幼児を遊ばせながら、お母さんの相談相手にもなっています。

3.事業実績・成果

当部会では原則毎月第2木曜日を担当しています。

			人 数
平成29年	4月 13日	30名	親子 (15組)
	5月 11日	41名	親子 (18組)
	6月 8日	14名	親子 (7組)
	7月 13日	16名	親子 (8組)
	9月 14日	34名	親子 (17組)
	10月 12日	31名	親子 (15組)
	11月 9日	26名	親子 (13組)
	12月 14日 (クリスマス会)	52名	親子 (26組)
平成30年	1月 11日	24名	親子 (12組)
	2月 8日 (リトミック)	26名	親子 (13組)
	3月 8日	29名	親子 (14組)

初めて赤ちゃんが誕生し、嬉しさと不安が入り混じり、子育ての大変な時、保健師の1ヵ月検診でかたせ・にこにこ広場を知り、集まってくるお母さん達も多くいます。情報交換をしながら、臨床心理士の原さんのアドバイスもあり、楽しい時間を過ごしています。

2人目、3人目が生まれます等、嬉しいニュースも聞かれます。



4.今後の取り組み

地域で楽しく子育てが出来るように取り組んでいきます。

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (青少年子育て福祉部会)～4～

1.事業名称

出張かたせ・にここ広場(まちづくり協議会ボランティアセンター運営委員会)事業に協力

2.事業目的・内容

片瀬は片瀬海岸から片瀬山まで、広い地域なので、なかなか、ボランティアセンターまで出かける事が大変な方もいらっしゃるのではないかと思います、こちらから出かけて行きます。

西浜公園、片瀬中学校、浪合市民の家、しおさいセンター(ふれあいルーム)、4か所で開催しています。

片瀬中学校では、お休み時間になると、中学生が赤ちゃんを抱っこしたり、おもちゃで遊んだり、楽しい時間です。

しおさいセンターは3月のお雛様の時期の開催なので、寄付された着物やドレスを着て写真を撮ります。ふれあいルームは広いので大きなおもちゃを出して遊んでいます。

3.事業実績・成果

平成29年	人 数
6月 1日 西浜公園	16名 親子(8組)
7月 6日 片瀬中学校(図書室)	14名 親子(7組)
9月 16日 片瀬中学校(図書室)文化祭	18名 親子(9組)
10月 5日 浪合市民の家	16名 親子(8組)
平成30年	
3月 1日 しおさいセンター	36名 親子(18組)



4.今後の取り組み

大勢の親子が地域で楽しく子育てが出来るように、片瀬の色々な所へ出かけて行きます。

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（青少年子育て福祉部会）～5～

1. 事業名称

エリザベス・サンダース・ホーム視察研修

2. 事業目的・内容

子どもの福祉の研修。

9月21日、大磯にあるエリザベス・サンダース・ホームに民生委員（児童福祉対策部会、低所得者福祉対策部会）との合同視察研修に行きました。

エリザベス・サンダース・ホームの創設者、澤田美喜さんは三菱財閥の創始者、岩崎弥太郎氏の孫として誕生し、成長して外交官、澤田康三氏と結婚し海外生活が多く、孤児院でのボランティアとして奉仕する機会を得たそうです。終戦後、駐留軍兵士と日本女性の間に生まれた混血孤児の不遇な状況を目のあたりにして、この子どもたちの母として育てるのが自分の使命として乳児院を作り、その子どもたちが学齢期に達した時、当時、混血児が地域の学校に受け入れられる状況で無かった為、敷地内に小学校を設立し、6年後に中学校を創りました。現在は児童養護施設として児童相談所から2歳～18歳までの子どもを預かり、育てているとのことでした。

澤田美喜記念館の2階にある礼拝堂でお話を伺い、澤田美喜さんのあふれる愛情を感じ、私たち、地域の福祉にかかわる者として良い勉強になりました。1階は隠れキリシタンの資料館で、表は仏像でも裏に十字が入っていたりして、あの時代の厳しい弾圧に屈しない人々の生き方を感じました。

3. 事業実績・成果

戦後の大変な時代から見たら現在は恵まれていると思いますが、現在も又、大変な問題を抱えている事も考えられます。良い勉強になりました。

4. 今後の取り組み

今後も民生委員との合同研修を実施、参加する予定

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（青少年子育て福祉部会）～6～

1.事業名称

青少協視察研修に参加

2.事業目的・内容

9月27日(木)

視察先 ギャラクシー(東京都足立区)

ギャラクシーは遊びながら学べる、複合体験型施設です。

子どもたちが、遊びや体験を通して、夢やチャレンジ精神をはぐくむことができる、これからの時代の新しい子どもの施設を目指している。

午前9時～午後9時30分まで開館していて、西新井駅から徒歩3分と立地条件もよく、小学校も近くにあり、学校の帰りに寄ることもできるそうです。

小学生向けのワークショップも多く、年間を通してのワークショップもあるそうです。地域の大学、企業、職人さん達が参加してワークショップを盛りたてています。ワークショップで育った子が中学生になって、ボランティアとして、お手伝いをするという事もあるそうです。

中学生、高校生は部活動的に施設を使用することができるということで、ドラムを使った音楽活動等に人気があるそうです。

乳幼児と親の広場もあり、食事時間で見学はできなかったのですが、片瀬のにこにこ広場のような場所だと思います。予約をすれば、幼児を預けることもできるそうです。(1時間500円)

素晴らしい施設で、関心するばかりでしたが、子どもと一緒に考え、活動する姿勢は学ぶことが多かった研修でした。

3.事業実績・成果

職員の子どもに関わる熱意を感じ、学ぶことも多く、今後の活動に生かしていきたいと思います。

社協単独で視察研修を企画実施することは負担が大きく、毎年青少協主催の視学研修に参加しています。大変勉強になり、また、青少協の方々と意見交換をすることができる貴重な機会となっています。

4.今後の取り組み

今後も、青少協視察研修に参加する予定

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (生活支援部会)～1～

1.事業名称 生活支援部会主催 研修会

介護保険でできること できないこと

2.事業目的・内容

平成28年度に介護保険制度の見直しがあり、介護保険の上手な利用について事例を通して考えました。また高齢化の進む社会では地域での助け合いも不可欠です。片瀬地区自治町内会での交流を深めるために実施されている活動事例も紹介しました。

平成29年7月11日(火) 10時～12時

片瀬市民センター 2階ホール

第1部

「片瀬地区の現状について」

「現在の介護保険制度について」

片瀬いきいきサポートセンター

センター長・ケアマネージャー 長沼 牧人氏

第2部

片瀬地区自治町内会の活動報告紹介

事例発表1:御幸町内会

事例発表2:片瀬山3丁目自治会

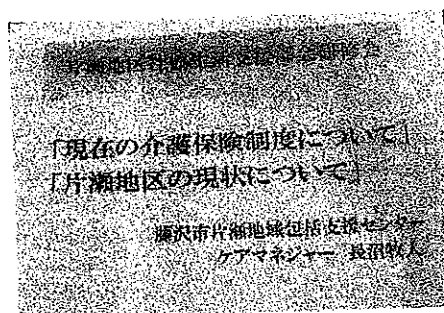
3.事業実績・成果

参加者72名(事前申込19名、当日出席者36名、生活支援部会員12名、包括支援センター2名、事務局3名)

- ・介護保険でできないことについて具体的に知ることが出来た。
- ・出席者が多く関心の高さが伺えた。

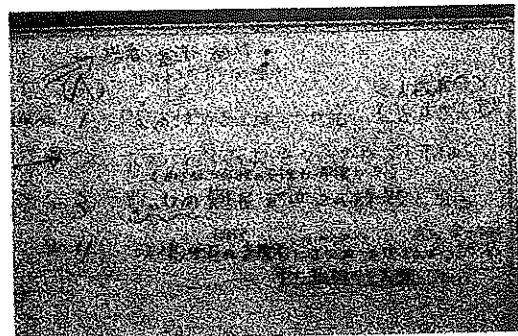
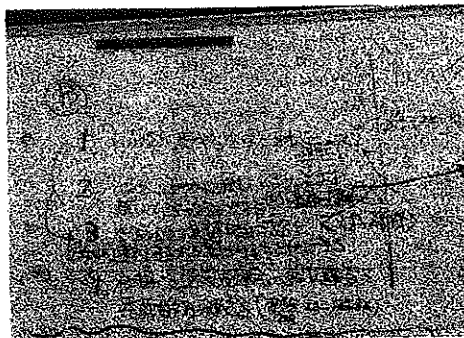
4.今後の取り組み

介護保険で出来ないことがかなりあり、お困りの高齢者夫婦、一人暮らしの高齢者に地域としてどのように支援できるか検討する。



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（生活支援部会）～2～

- 1.事業名称 部会でのグループディスカッション
- 2.事業目的・内容 「これまでの振り返りと今後について」のテーマでグループディスカッションを行った。
- ・各グループ内で意見交換をする
意見を付箋紙に書き模造紙に貼る。
 - ・各グループ内の意見をまとめる
概ね意見を4分類にまとめる
- 3.事業実績・成果 9月26日(火) 11月28日(火) 全2回
生活支援部会にはいろいろな立場の人で構成され、意見もさまざまだが、ディスカッションすることにより問題提起や、共通理解をすることができた。
8月に行った地域で生活支援をしている「片瀬地区福祉ボランティア・しおさい」との話し合いを受けて社協でできることは応援することを確認した。
- Aグループの意見
- ・PRの仕方を工夫し若い人をまきこむ
 - ・ボランティアしおさいをバックにしては？
 - ・買い物難民が近々の課題になる
 - ・江の島地区に行く支援者に無料でエスカーを使えるよう市に
取り組みをお願いしたい
- Bグループの意見
- ・ボランティアしおさいのしていることが生きたニーズ
 - ・しおさいがやってほしいということをまず聞いてバックアップする
 - ・やることが具体的になると担い手をみつけることが出来る
 - ・社協生活支援部会の設立趣旨を年度初めに配る
- 4.今後の取り組み 平成29年度の目標である「高齢社会において安心して暮らせる地域づくりの検討」を更に進めるため、地域における生活支援グループと協力して生活支援を出来る人材を見つけるための環境づくりをする。



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（生活支援部会）～3～

- 1.事業名称
訪問研修
ライフタウン・ジョワ訪問
- 2.事業目的・内容
片瀬地区でも生活支援部会(社協)が、地区で活動している「片瀬地区福祉ボランティア・しおさい」を応援するには社協として何ができるのかを、見出すため、すでに社協として生活支援活動をしている他地域のボランティアセンターを訪問する。
- 3.事業実績・成果
平成30年2月21日(水) 10時30分～12時
藤沢市大庭5061-2 イオン藤沢店 3階
福祉ボランティアセンター「ライフタウン・ジョワ」
参加者 12名
・他地区における生活支援活動を知ることが出来た。
- 4.今後の取り組み
他地区の活動を参考にし、片瀬地区社協としての生活支援を検討していく。今後の訪問研修は年度の早い時期に実施する。



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（生活支援部会）～4～

1.事業名称 部会定例会

2.事業目的・内容 生活支援部会の活動を円滑に進めるために月1回の定例会を開催した。

3.事業実績・成果

- 5月23日 総会出席、顔合わせ
- 6月27日 生活支援部会の今までの流れ
今後の生活支援の進め方について
福祉研修会準備
- 7月25日 藤沢型地域包括ケアシステムについて
福祉推進室より3名出席
- 8月29日 ・藤沢型地域包括ケアシステムより片瀬地区について説明。
地域包括ケアシステム推進室より2名出席
・地域で活動している生活支援グループ
「片瀬地区福祉ボランティア・しおさい」との
意見交換 しおさいより4名出席
- 9月26日 グループディスカッション
- 10月31日 小野副市長との意見交換
～生活支援立ち上げの経緯について～
平成26年度社協での見直し検討会の話し合い
片瀬市民センター長だった小野副市長に当時の
背景、生活支援部会立ち上げの経緯について話を聞き意見交換をした。
- 11月28日 グループディスカッション
- 1月30日 生活支援部会(社協)がボランティア・しおさいに
どのような支援が必要かしおさいに話を聞く。
ボランティア・しおさいより1名出席
話し合い後、しおさいの活動を応援することとした。
- 2月27日 ライフタウン・ジョワを訪問しての感想、話し合い
- 3月27日 総会に向けて活動のとりまとめと30年度事業について検討

4.今後の取り組み 今後も実施する。

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (広報部会)～1～

1.事業名称 広報紙 社協だより「しあわせ」発行 全戸配布

2.事業目的・内容 地域に関係の深い福祉に関する情報発信

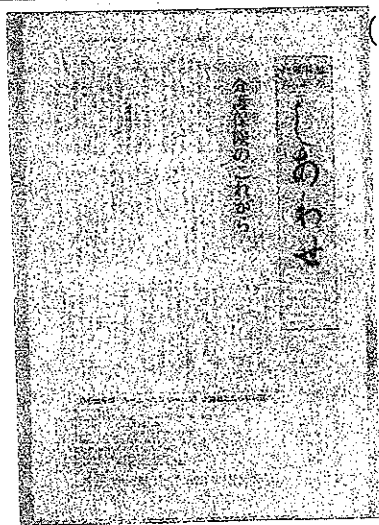
3.事業実績・成果 (1)第50号 平成29年6月25日発行



掲載記事

- ・平成29年度片瀬地区社会福祉協議会総会報告、
新体制役員一覧
- ・各部会事業計画
- ・「しあわせ」50号発行記念特集
- ・片瀬市民センター新任職員紹介
- ・生活支援部会事業報告

(2)第51号 平成29年11月25日発行



掲載記事

- ・介護保険のこれから
- ・片瀬地区「敬老会」「ふれあいまつり」報告
- ・連載 しあわせとは「故郷」鶴野 美紀さん
- ・連載 わたしの健康法 杉山 武さん
- ・連載 まちの憩いの場所

「コミュニティハウス片瀬山・山本文庫」佐藤 英樹代表

4.今後の取り組み 地域で必要とされている身近な福祉の情報を収集し発信していく

5.備考 部会開催 年間 28回

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（広報部会）～2～

1.事業名称 「社協ニュース」発行 全戸配布

2.事業目的・内容 片瀬地区社会福祉協議会の事業案内及び報告

3.事業実績・成果 (1)第5号 平成29年10月10日発行



掲載記事

- ・片瀬地区敬老会開催
- ・「介護をしている人のつどい」案内
- ・第40回ふれあいまつりに参加します
- ・生活支援部会「介護保険でできることできないこと」研修会報告
- ・高齢者福祉部会「散策事業」「元気シニア」案内
- ・青少年・子育て福祉部会 呼子笛配布の報告
- ・障がい福祉部会 地区の学校の支援級との交流などの案内
- ・片瀬地区社会福祉協議会会計報告

(2)第6号 平成30年3月10日発行

掲載記事

- ・生活支援部会
- ・高齢者福祉部会「散策事業」「元気シニア」報告
- ・青少年・子育て福祉部会 「児童交流会」報告
- ・障がい福祉部会 「藤の実学園」研修報告・講習会報告
- ・広報部会 広報誌「しあわせ」発行報告
- ・賀詞交歓会 報告
- ・「介護をしている人のつどい」案内

4.今後の取り組み 地域住民の方々が地区社協の事業に関心を持ち、より多くの方々に理解され参加していただけるよう、事業案内を発信していく

5.備 考 部会開催は広報紙「しあわせ」と同日

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (広報部会)～3～

- 1.事業名称 ポータルサイトの社協ホームページ発信
- 2.事業目的・内容 片瀬地区社会福祉協議会の事業案内及び報告

- 3.事業実績・成果
- (1)平成29年8月10日発信
- 掲載記事
- ・新体制スタートしました
- (2)平成29年9月26日発信
- 掲載記事
- ・平成29年度片瀬地区敬老会開催
- (3)平成29年10月11日発信
- 掲載記事
- ・社協ニュース5号を発行しました
- (4)平成29年11月30日発信
- 掲載記事
- ・しあわせ51号を発行しました
- ※平成30年3月までの総閲覧数は35,000余りです

4.今後の取り組み

より多くの方に地区社協の事業内容を知っていただくため、発信回数を増やす



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (その他の事業)～1～

- 1.事業名称 地区敬老会
- 2.事業目的・内容 高齢者の長寿をお祝いするため開催。藤沢市との共催事業
協力団体:片瀬地区民生委員児童委員協議会
片瀬地区交通安全対策協議会
対象者:83歳以上の高齢者

市長出席の式典の後、昼食をはさんで、地元の保育園児による歌、民生委員有志のダンス。
また、参加者全員で歌を唄うなど、楽しい時間を過ごしていただいた。
- 3.事業実績・成果 実施日 平成29年9月6日(木)
実施場所 藤沢市民会館 第1展示ホール
参加者 224名(対象者217名 付添い7名)
関係者 市長、来賓14名、福祉協力者46名、民生委員31名、
看護師1名、交対協4名、事務局12名
- 4.今後の取り組み 市との共催事業により今後も実施



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (その他の事業)～2～

- 1.事業名称 敬老事業

- 2.事業目的・内容 満100歳をお迎えの方々に藤沢市長の訪問に併せて、地区社協よりお祝い金1万円を民生委員を通じて差し上げました。

- 3.事業実績・成果 実施人数 : 6名

- 4.今後の取り組み 市との共催事業により今後も実施

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (その他の事業)～3～

- 1.事業名称 地区新年賀詞交歓会
- 2.事業目的・内容 片瀬地区自治町内会連絡協議会と共催事業として、地域の方々をお呼びして新年のあいさつと交流を深める。
- 3.事業実績・成果 1月6日(土) 午前11時より 片瀬市民センターホールにて
参加者 : 127名
- 4.今後の取り組み 地区自治会町内会連絡協議会との連携事業として、今後も継続していく。

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（その他の事業）～4～

- | | |
|-----------|--|
| 1.事業名称 | ねたきり高齢者への見舞い品贈呈 |
| 2.事業目的・内容 | 地区のねたきりの高齢者の方々に少しでも快適な生活を送っていただけるように、民生委員を通じて介護に役立つものを贈らせていただいた。 |
| 3.事業実績・成果 | 品 物 : 保湿ティッシュ
対象人数 : 18人 |
| 4.今後の取り組み | 今後も少しでも快適な生活を送っていただけるように継続していく。 |

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（その他の事業）～5～

- 1.事業名称 家族を介護者している人のつどい
- 2.事業目的・内容 これから介護を始める人、いま介護中で悩んでいる人、疲れている人、介護が終わったけれどこれでよかったのかと気持ちが解放されていない人が、周囲に気兼ねしないで話し合いができる場を提供する。片瀬いきいきサポートセンター職員と社会福祉法人上村鵠生会の職員が同席し、話し合いに加わる。
- 3.事業実績・成果
- 実施日 第1回 平成29年9月21日(木)
参加者 3名
- 実施日 第2回 平成30年2月17日(土)
参加者 1名
- 実施時間 10時～11時30分
- 実施場所 片瀬市民センター 第2談話室
- 4.今後の取り組み 参加人数は少ないが、周囲に気兼ねしないで話し合える場を提供するため今後も継続していく。

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (その他の事業)～6～

1.事業名称

地区ふれあいまつりへの協力
～福祉バザー・掘り出し市～

2.事業目的・内容

片瀬ふれあいまつり(公民館まつり)の一環として、ご家庭で使わない品物をご寄付いただき、福祉バザーを開催。バザーの収益金は地域の福祉活動に還元するため、片瀬地区社協の事業費とする。

3.事業実績・成果

福祉バザー 実施日 : 平成29年10月28日(土)
実施場所 : 片瀬市民センター ホール

掘り出し市 台風の為中止

収益金 45,808 円

4.今後の取り組み

公民館との共催事業により今後も実施



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (その他の事業)～7～

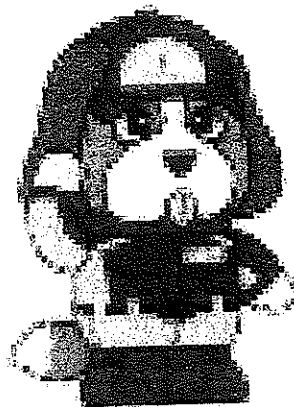
- 1.事業名称 地区ふれあいまつりへの協力
～藤沢炒麺販売～
- 2.事業目的・内容 片瀬ふれあいまつり(公民館まつり)の一環として、藤沢市内で収穫された小麦粉を使った地粉の麺、同じく地元の野菜を使った「藤沢炒麺」を販売

収益金は地域の福祉活動に還元するため片瀬地区社協の事業費とする
- 3.事業実績・成果 実施日 : 平成29年10月29日
実施場所: 台風の為、本館ロビーにて
販売実績: 185食 55,500円
- 4.今後の取り組み 公民館との共催事業により今後も実施



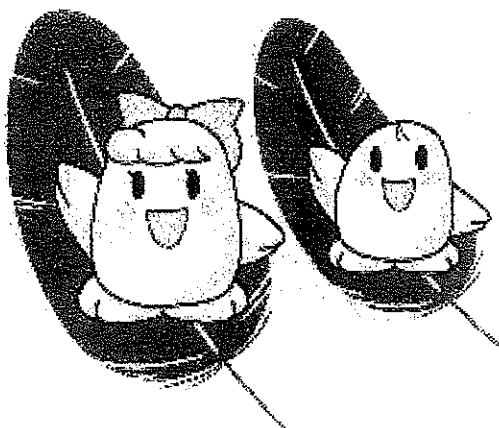
片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（その他の事業）～8～

- 1.事業名称 日赤社資増強運動
- 2.事業目的・内容 日本赤十字社は、国内外の救援活動をはじめ、地域のニーズに応じた福祉ボランティア活動、その他広く事業を展開しています。事業資金は赤十字の事業の賛同者から、自治会・町内会を通じて寄せられた「社資」により支えられています。
- 3.事業実績・成果 募集期間 : 平成29年5月～6月
地区実績額 : 1,404,700 円
市社協へ送金。
- 4.今後の取り組み 市社協への協力として、今後も継続・協力していく。



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（その他の事業）～9～

- 1.事業名称 赤い羽根共同募金の推進
- 2.事業目的・内容 地域福祉の増進を図るため、県民の助け合いの心を振興し、その結晶である寄付金は、地域の中で様々な活動を展開する民間の福祉団体を支える資金として、有効に活用され、福祉の向上に寄与されます。募金は自治会・町内会を通じてご協力いただきました。
- 3.事業実績・成果 募集期間 : 平成29年 10月
地区実績額 : 1,394,580 円
市社協へ送金。
- 4.今後の取り組み 今後も継続・協力していく。



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（その他の事業）～10～

1.事業名称

年末助け合い募金運動の推進

2.事業目的・内容

地域の寝たきり、認知症、ひとり暮らしの高齢者、障がい者など、介護を必要とする人々や、ひとり親、子育ての中の世帯、在住外国人など生活基盤が弱く支援を求める人々など誰もが住み慣れた地域で安心して生活をしていくためには、行政の施策と相まって、地域の問題を互いに協力し合い解決していく取り組みや、年間を通じた計画的な援助が必要なため、年末助け合い運動が展開されています。募金は自治会・町内会を通じて協力をいただきました。

3.事業実績・成果

募集期間 : 平成29年 12月

地区実績額 : 545, 120 円

市社協へ送金

4.今後の取り組み

今後も継続・協力していく。



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (その他の事業)～11～

- 1.事業名称 車いすの貸し出し
- 2.事業目的・内容 片瀬地区在住の方で通院・外出・一時退院・墓参りなどに利用していただけるよう社協の車いすを貸し出ししています。
片瀬市民センター福祉窓口までお申し出下さい。
貸し出し期間は1ヵ月以内でお願いしています。
- 3.事業実績・成果 保有数 : 片瀬市民センター 7台、しおさいセンター 3台
貸し出し実績 : 55台 (平成30年3月末)
- 4.今後の取り組み これからも継続していく。
- 5.備 考 段差を乗り越える際などの操作をスムーズにする。「JINRIKI」もあります。

